

予冷库・選果場だより No.1

ほうれん草専門部会・トマト専門部会
 キュウリ専門部会・ミディトマト専門部会
 タマネギ部会

福井基幹支店管内では、3ヶ所の選果場と1カ所の軟弱調製施設が稼働しています。選果場では、大玉トマト・中玉トマト・キュウリ・タマネギを選果します。また、施設稼働は、軟弱調製施設が周年でほうれん草・小松菜を調製しています。選果場は、キュウリ(土耕)の選果は6月末ごろ・大玉トマトの選果は7月末ごろまで続きます。

1. 予冷库・選果場マップ

★福井西部予冷库・選果場(福井市白方町)
 予冷库:金福スイカ
 選果場:ミディトマト

★福井北部予冷库(福井市川合鷲塚町)
 品目:水菜・ブロッコリー・白ネギ
 ほうれん草・つまみな

★永平寺選果場(永平寺町松岡兼定島)
 品目:タマネギ

★福井中央選果場
 品目:大玉トマト・キュウリ

★軟弱調製施設・予冷库(福井市東下野町)
 品目:ほうれん草・小松菜

【選果場稼働計画】

- ミディトマト選果場 : 6月6日～
- タマネギ選果場 : 6月13日～

5月実績 5月は軟弱類(葉菜)の出荷が少なく、果菜類(キュウリ)の出荷が多い状況でした。

地区	施設区分	R4		R3		前年比	
		荷受重量(kg)	販売金額(円)	荷受重量(kg)	販売金額(円)	荷受重量(kg)	販売金額(円)
北部	予冷库	6,007	2,393,905	7,824	2,474,691	76.8%	96.7%
	選果場	17,766	10,458,430	26,326	14,967,375	67.5%	69.9%
中央	予冷库	60,951	16,288,539	44,376	10,950,302	137.4%	148.7%
	選果場	305	155,952	150	47,736	203.3%	326.7%
西部	予冷库	9	8,596				
	選果場						
合計		85,028	29,296,826	78,685	28,448,700	108.1%	103.0%

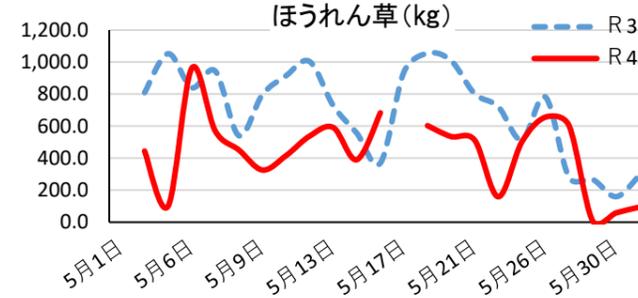
【大阪市場情報】

大阪本場における6月単月での野菜の入荷数量は10,821t(前年比94%)、単価262円/kg(前年比101%)です。6月11日単日でみると野菜の入荷数量は1,249.9t(前年比103%)、単価259円/kg(前年比106%)で推移しています。

3. 予冷库稼働実績

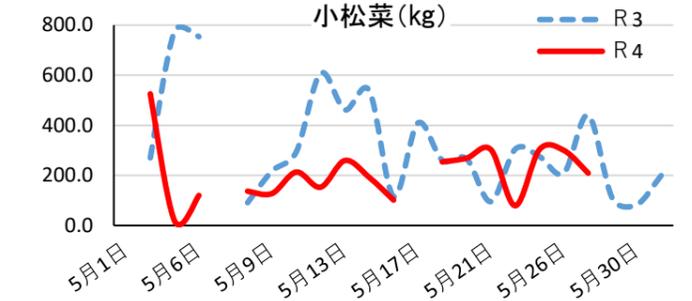
販売数量(kg)

品目名	R4	R3	前年比
ほうれん草	9,206	15,381	59.9%
小松菜	3,566	6,777	52.6%
みず菜	2,436	3,151	77.3%



【市場情報】

全国的に野菜全般の生育は良好で入荷量は増加傾向である。販売は加工野菜や外食関係、旅行業界ともまだまだ回復には至っておらず、やはり小売店販売が中心となる。福井県産としては夏野菜を中心にナス、小葱、水菜などが引き合いが良好になっていく見込みです。



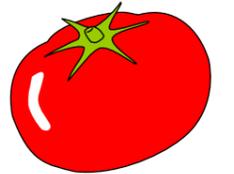
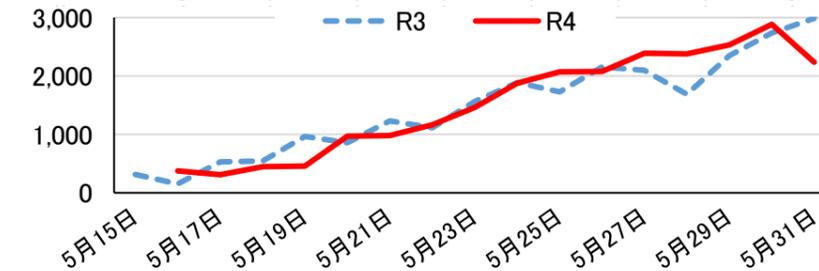
4. 選果場稼働実績

大玉トマト

大玉トマトの選果は、5月16日から始まりました。5月の実績は、出荷数量24.6t(前年比98.9%)販売高6,922千円(前年比115.0%)でした。

販売数量(kg)

等級/階級	4L	3L	2L	L	M	S	2S	合計	前年比
秀	371	3,403	3,280	4,145	1,951	365	2	13,517	131.0%
優	499	3,088	2,254	2,206	945	203	1	9,197	89.5%
良	145	675	474	431	156	22	0	1,902	44.1%
合計	1,041	7,049	6,311	7,512	3,610	903	4	24,616	98.9%



【市場情報】

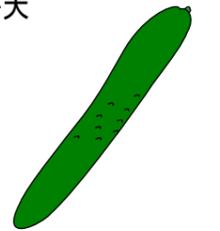
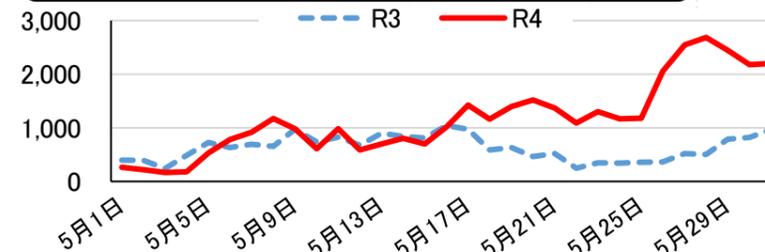
福井市場は岐阜県産を中心に日量1000ケースの入荷でしたが、現在は徐々に減少しており隔日出荷となっています。産地が入れ替わるため、福井県産については堅調な見込みです。

キュウリ

5月の実績は、出荷数量36.3t(前年比186.5%)販売高8,672千円(前年比189.9%)でした。前年を大きく超える実績は、今年度、大型ハウスの新設による、生産量の増加によるものです。

販売数量(kg)

等級/階級	2L	L	M	S	合計	前年比
秀	764	6,041	6,808	211	13,824	150.2%
優	1,233	4,132	14,284	479	20,128	216.3%
良			2,382		2,382	245.8%
計	1,997	10,173	23,475	691	36,335	186.5%



【市場情報】

これまでの高値反転と他産地が生育良好で潤沢な出荷続いているため、県内外産とも販売は厳しい情勢です。今後のサラダ食材の拡大や他産地の出荷減少も見込まれるので、今後は回復傾向の見込みです。